

# みんなで楽しくスポーツを

No.279 2019年2月



マイスポーツ発見プログラム(フェンシング)  
H30.12.1(丸亀市民体育館)



かがわドリームスポーツ教室(バレーボール)  
H30.12.15(善通寺市民体育館)  
講師:植田辰哉氏、齋藤信治氏、山本隆弘氏  
大山加奈氏、大山未希氏

## スポーツで共生社会の実現を!



県民スポーツ・レクリエーション祭  
H30.11.11(サンポート高松)

- オリ・パラ特集  
パラ卓球日本代表 皆見 信博
- スポーツのすすめ  
香川県障害者スポーツ協会  
事務局次長 三井 一良
- スポーツ指導者の声  
大西多江子、川原 篤
- わが町のスポーツ自慢  
丸亀市、さぬき市
- かがわのスポーツ・インフォメーション





「自分の考えをしっかりと持ち、一生考えて歩み続ける」

パラ卓球 日本代表

皆見 信博

皆さんこんにちは。皆見信博です。現在、三豊市財田町に住みながらパラ卓球競技の日本代表として東京パラリンピック出場、そして金メダル獲得を目指して活動をしています。

私は、2000年のシドニーパラリンピックと2004年アテネパラリンピックに出場しました。家族や多くの方々のご支援とご声援のおかげで、シドニーパラリンピックでは障害区分、個人クラス2で5位入賞することができました。

今回は、自分の考えをしっかりと持ち、一生考えて歩み続ける大切さを私の経験を通してお話したいと思っています。

## ぶれない意思を持つ (自覚)

小学校2年生の時に交通事故で頸髄損傷（首の骨が折れ、下半身まひ）になり車椅子生活になりました。そして、小学校4年生の時に、私はこの身体で一生、生きていくのだと子どもながらに自覚しました

## 卓球との出会い

事故に遭ってから高松市内にある施設で生活をしながら学校に通っていました。高校2年生の夏、同じ敷地内にある体育館に行った時のこと、過去に車椅子バスケットボールの日本代表の経歴を持つ指導員の方から、以前、国際大会に行った時、私と同じような障害の人が卓球をしているのを見た事があると、私に勧めてくれました。これがきっかけで、卓球と巡り会いました。

しかし、練習をしていて一番困る事は、体温調節ができない事です。人の体には、皮膚が暑いか寒いかを脳に知らせる機能があります。暑いと脳から命令が出て、汗を出して体温調節を行います。私の場合、首の骨が折れているため脳からの信号が首でストップしてしまいうために、汗がかけません。そのため、夏は運動をすると30分位で体温が40度位まで上がってしまいます。さらに卓球

の球は軽いことから風に影響されてしまうため、体育館の窓が開けられません。だから、夏は30分運動をしては、30分体を冷やすという、効率の悪い練習になってしまいます。冬はその逆で、体を動かしてもなかなか温まらないので、暖房などで体を温めながら練習をしました。

## 挫折からの転機

卓球を始めて一度だけ大きな壁にぶつかりました。指導員の方と練習している中で、私の体が小さいこともあり届かないコースをつかれました。このとき私は、届かないコースばかり狙って打たれたら、いくら練習しても勝てないと思いました。しかし、自分には卓球しかないのだから、絶対に強くなると自分に言い聞かせながら練習を続けました。

今思えば、この時期が自分のレベルアップの良い機会になったと思います。

## パラリンピックに向けて

1994年に第1回日本国際クラス別選手権大会が大阪で行われました。この大会は障害別になっていて車椅子は1〜5クラスに分かれています。クラス1は手を肩より上に上げられず座位バランスの全くない人、クラス2は手に障害があり、上肢の筋力なども少し弱く、座位バランス



2018アジアパラ競技大会

が全くない人、クラス3は上肢がほぼ正常で座位バランスが全くない人、クラス4は上肢が正常で座位バランスが少しある人、クラス5はほぼ正常だが立ってプレイできない人に別れています。私はクラス2に属し、この大会で優勝することができました。

そして、1995年に、イギリスで開かれた1995国際ストーク・マンデビル車椅子競技大会（パラリンピック発祥の地）に日本代表として出場し、銅メダルを取る事ができました。国際大会に出場できた喜び、また重度の障害を持っていてもスポーツができるといった自信・希望・

勇気を得られたと思います。そして、パラリンピックで金メダルを取ると強く思いました。

## シドニー・アテネ パラリンピック

夢にまで見たシドニーパラリンピックの結果はベスト8でした。負けた直後に環境整備の大切さを強く感じました。

アテネパラリンピックに向け、卓球用品メーカーとの関係を進めることとし、卓球用品メーカーと2001年8月20日、障害者卓球選手初のアドバイザリー契約を結びました(アドバイザリー契約は卓球商品の無償提供やラケット・ラバーの開発等)。契約を結んだことで、用具代も必要なくなりましたが、競技に対する取り組みや姿勢も今まで以上に努力しなければいけないと強く思いました。

2004年、世界ランキング4位で迎えたアテネパラリンピックでは3人が2勝1敗で並びセット率で予選敗退になりました。自分の力のなさを実感しました。

## 東京パラリンピックに 向けて

現在スポーツトレーナーと体幹強化や可動域を広げるトレーニングを、

コーチと弱点克服や技術レベル向上に取り組んでいます。東京パラリンピックに出場するためには、最低でも世界ランキング10位内に入ることが必要です。現在22位(2018年12月時点)です。

復帰してから優勝はもとより世界のトップ10の選手に勝っていないのだからかなり厳しい道のりですが、可能性のある限り努力を続けていきたいと思っています。

## これからの日本パラ卓球

日本パラ卓球は選手の強化育成という面において世界から大きく後れをとっています。海外ではナシヨナ

ルチームが結成され国を挙げて指導や強化が行われています。また、資金面でも国や企業のスポンサーなどが付いていてパラリンピックでメダルを取れば年金や報奨金、ボーナスなどがもらえます。

それに比べ、日本では個人が練習をして国際大会に出場していますし、パラ卓球(車椅子卓球)を指導できる人がいません。選手が活動しやすい環境を整えながら、これまでの私の経験を多くの選手に伝えていくことが、これからの私の役目でもあると思っています。

私は、卓球をするようになり、友人もたくさんでき、夢を持ち、考えながら努力をして、楽しみながらこ

れまで歩んできました。これからも、卓球を楽しみながら夢(東京パラリンピック金メダル)を目指して努力をしていきたいと思っています。

みなさんも、何でもいいですから人生を楽しく生きていけるようなものを見つけ、悔いのない人生を歩んでほしいと思います。



トレーニングの様子(外村トレーナーと)



2018アジアパラ競技大会(男子団体銀メダル獲得:松村選手と)





## 「誰でも気楽にスポーツを楽しむ いっのできる環境づくり」

香川県障害者スポーツ協会  
事務局次長  
三井 良

はじめに

2020年東京オリンピック・パラリンピックが近づくにつれ、障害者スポーツへの関心も徐々に広がっています。長年特別支援学校に勤務し、特別な教育的支援を必要とする子どもたちから「勇気」と「感動」をいただき、現在は、障害者スポーツを通して障害のある方々と関わらせていただいています。そして私が今、願っていることは、障害に対する正しい理解がもっと深まり、障害のある人もない人も共に支え合いながら生き、共にスポーツを楽しむことのできる共生社会が実現されることです。そこで、法的整備を含めた障害を取り巻く環境の変化と、障害に対する考え方、及び個々の特性（特徴）に対する具体的支援のあり方等についてお伝えしたいと思います。

### 障害を取り巻く環境の変化

2011年8月5日に障害者基本

法の一部が改正され、2014年1月20日には、我が国が、「障害者権利条約」を批准しました。また2016年4月1日には、「障害者差別解消法（障害を理由とする差別の解消に関する法律）」が施行され、障害を理由としていかなる差別もしてはならないことや、お互いその人らしさを認め合い共に生きること、障害者が、自分の意思に基づいて生きることが規定されました。更に学校においては、障害のある・なしに関わらず可能な限り、共に教育を受けられるよう配慮することが示されました。スポーツに関しては、2011年8月24日に施行されたスポーツ基本法やそれに基づき2017年3月に策定された第2期スポーツ基本計画において、障害の種類及び程度に応じて必要な配慮をすることで、障害者が自主的、積極的にスポーツを行うことができるよう推進されなければならぬことなどが示されました。

### 必要な支援に心がける

障害と特性（特徴）は、分けて考えることが大切です。たとえば、不注意、衝動性、こだわり、不器用などは、その人の特性（特徴）であり、障害ではありません。共生社会を実現するためには、それぞれの特性（特徴）に応じた「必要な支援」が欠かせません。そこで特別支援学校の教員等が常に心がけている内容をいくつか紹介します。①子どもを決してコントロールしないこと ②一人ひとりの子どもにも共感して支援すること ③できないことを指摘せず、自信をはぐくむ伴奏者になること ④子どもたちの社会自立を目指し、スモールステップで、段階的な関わりを行うこと ⑤うまくことばで表現できない子どもたちの心の代弁者や通訳者になること ⑥子どもは学習方法なども一人ひとり異なるので、個々に応じた柔軟な対応を心がけること ⑦周囲の子どもたちが、困っている子どもに必要な支援ができるよう、正しい障害理解を促進すること などです。誰もが参画できる環境をつくり（できる状況づくり）、その人の「できること」を見出し、それを伸ばし、育むことが、共生社会実現のための「必要な支援」に繋がります。

### おわりに

障害があるということとは、その特性（特徴）のため、学習上や生活上はもちろん、スポーツをする上でも、困ることがたくさんあり、周囲の人々の支援を必要とします。障害を正しく理解し、第2期スポーツ基本計画に示されているように、年齢・性別・障害の有無等を問わず、広く人々が関心・適性等に応じてスポーツに参加できる環境を整備することが大切であると考えます。童謡詩人の金子みすず氏は、「私と小鳥と鈴と」の中で、「……鈴と小鳥と、それからわたし、みんなちがって、みんないい」と云っています。「共生社会」とはまさにこういうことではないでしょうか。



# スポーツ指導者の声

## 「スロートレーニングで 若々しく」



日本スポーツ協会公認  
スポーツプログラマー  
大西多江子

「イチ、ニー、サン、シー、ゴー、ロク、シチ、ハチ」

運動と共に聞こえる元気な声。

私がこの運動を始めたのは、長年悩んでいた膝の痛みから解放されたことからです。手術を迫られていた折、この運動の先生と出会い、筋肉を鍛えて筋肉のサポーターを作る重要性を勧められました。ゆっくりとした運動で、中高年に適しており、道具も必要なく、いつでもどこでもできる筋肉トレーニングです。継続しているうちに、この運動の効果に驚きました。悩んでいる人々に体験してもらいたいと思ったのです。

ストレッチで筋肉を柔らかくし、ゆっくりと筋トレをします。筋肉を動かす脳を刺激します。主に大腰筋や太ももの筋肉を鍛え、体幹や足腰を強くします。筋肉を意識し、正しいフォームでゆっくり運動します。指導に行っているグループの屋敷ROスポーツクラブは、高齢者の方が多く、初めは少ない回数でしたが、



継続しているうちに、筋肉が強くなり回数が増え、フォームもきれいに変わってきました。膝や腰の痛みが減った、階段や歩くのが楽になったなどの効果が現れ、喜んでくれています。また、何よりうれしいのは地域の参加者同士のふれあいです。レッスンの合間や終わった後、汗を拭きながら楽しい会話やさすがしい笑顔が見られ、結び付きが深まっています。心も体も若返っています。みんなと一緒にできると言います。

レッスンの最後に、みんなで声を掛け合います。

「筋肉は裏切らない」  
「継続は力なり」

## 「目指せ!! オリンピック 選手」



香川県ホッケー協会  
ジュニア担当  
川原 篤

ホッケーの魅力は圧倒的なスピード感です。シュートは時速160kmを超え、キーパーはすばやい反応でそのシュートをセーブします。攻守の切り替えがとても激しくスピーディーでスリリングなスポーツです。

『目指せ!! オリンピック選手』を合言葉に綾川町にジュニアチームを結成して早20年。本県におけるホッケー競技の普及を目指し、ただがむしゃらに突き進んできました。

活動当初は香川県におけるホッケー競技の知名度は極めて低く、周囲の理解をなかなか得ることができませんでしたが、小学生チームの活躍などにより少しずつ認知されるようになっていきました。

その甲斐あって、多方面からのご支援により、平成24年度から中学生の活動をスタートし、念願の『全中大会』にも5年連続して出場することができ、指導者しなかけがえのない経験を積むことができました。現在では、全国大会での活躍はもとよ



り、年代別の日本代表を複数輩出するなど、地道な活動が実を結びつつあります。

また、中学校卒業後も高校、大学とホッケーを継続する者が多数現れたことは、この活動を通じてホッケーの楽しさを伝えることができた受け止め、何事にも代えがたい喜びに感じています。

少しずつホッケーが普及してきたとは言え、他競技と比較してもまだまだ課題は山積みです。一人でも多くの皆さんにホッケーを知ってもらうことにより、子どもたちが安心してホッケーに打ち込める環境が整っていくものと信じ、ホッケーを通じてできた多くの仲間と共にさらなる普及を目指して邁進していきたいと思えます。



# 丸亀市

## 「国内女子サッカー」 発祥の地「丸亀」

丸亀高等女学校（現・香川県立丸亀高等学校）の生徒たちがフットボールをしている大正時代の写真絵葉書が、平成23年に本市で発見されたことにより、丸亀市は「国内女子サッカー発祥の地」とされています。この絵葉書の発見を契機に、平成27年度に皇后杯全日本サッカー選手権大会や香川県内で初めてとなる国際親善試合「日本対ニュージーランド」戦が開催されるなど、高レベルのサッカーを体感し、観戦する機会をもたらしめました。

そこで、本市の取り組みとしては、「丸亀なでしこスマイル☆サッカー交流大会」を平成27年度から実施しており、今年2月で4回目となります。県内外から多くのチームが参加し、地元の子児童が全国のレベルを肌で感じることができ、同じスポーツに取り組んでいる同年代との交流の場になっています。

ほかに、カマタマーレ讃岐と連携して市内の保育所や幼稚園に訪問し、

こどもたちがサッカーを始めるきっかけづくりとして「まるカマキッズ」の実施や、女子サッカーの普及活動として「女性のためのサッカークリニック」を月1回のペースで開催しており、子どもから大人まで、楽しく参加していただいております。

本市ではまだまだ、女子がサッカーに取り組む環境整備が不十分です。今後は、小学生から高校生までを通じて、女子がサッカーに取り組める環境整備を図り、女子サッカーといえれば丸亀と認知していただき、さらには未来のなでしこジャパンのメンバーを輩出できるように取り組んでまいります。



連絡先 丸亀市生活環境部  
スポーツ推進課

電話 0877-24-1392  
FAX 0877-24-1309

# さぬき市

## 『さぬき市へんろ88ウォーク』

さぬき市では、毎年11月3日（文化の日）に、四国霊場の結願寺である大窪寺を目指す「さぬき市へんろ88ウォーク」をスポーツ推進委員さんを中心とした多くのボランティアスタッフの協力を得て実施しています。この事業は、平成15年から始まり、平成30年で第17回を迎えました。

このウォークは、大窪寺までの遍路道を基本コースとし、ゴールを目指しながら途中にある文化財の見学を行うなど、ウォーキングによる健康・体力づくりだけでなく、文化財やお遍路文化への興味・関心を高めることも目的とした特色あるもので、毎年500人以上の方が参加しています。

コースは、さぬき市役所を出発し、志度寺・長尾寺・おへんろ交流サロン（古来のへんろ資料を展示している）・細川家住宅（国指定の重要文化財）・大窪寺を巡る約26kmの「3カ寺完歩コース」、おへんろ交流サロンを出発し細川家住宅・大窪寺までの約11kmの「へんろ道コース」、旧多和小学校を出

発し大窪寺を目指す約5kmの「結願コース」の3種類を設定しており、参加者の体力に合わせたコースを選択できるようにしています。また、コース途中には、お接待所を設置し参加者の疲れた体を癒すオアシスとして好評を得ています。

多くの皆様に本ウォークを通して、健康・体力づくりに関心を持っていただくとともに、参加者同士の交流やお接待による日本人の心の優しさを、深まりゆく秋の風景とともに満喫していただけるよう、今後も創意工夫し、皆さんに喜んで参加していただけるウォークに育てていきたいと思っております。



連絡先 さぬき市教育委員会生涯学習課

電話 0879-42-3107  
FAX 0879-42-5454

## 総合型地域スポーツクラブ 二般社団法人 ウエルネスファミ

ウエルネスファミは2014年12月、高松市福岡町プールで行う水泳事業でスタートしました。当初は「今日は4名確保できるだろうか？」とコース

専用利用に必要最小人数5名を確保することに奔走する日々でしたが、続けていくうちに参加者や地域の人達の口コミや協力もあり会員も増え、2016年5月、一般社団法人を設立。現在会員は50名を超えました。

私たちは、高松市の商店街地域・高松第一小・中学校区を拠点に活動をしています。少子高齢化、核家族化、商店街の空洞化などの地域の問題に対し、街中の人達が一体となり、みんなで個人を見守る地域包括の実現が、一人ひとりの健全な生活の充実や地域活性化になると考え、その一端を担える都市型の総合型地域スポーツクラブを目指しています。

### ●ウエルネスファミ的

#### スポーツと健康

スポーツは競技スポーツと生涯スポーツに定義されますが、私たちはスポーツには日々の生活の健康や機能改

善も欠かせない、身体と全て繋がるものと捉え、専門的なものから年齢・性別・経験問わず誰もが参加できるものまで、多種多様なプログラムや企画を開催。会員の皆様の声も取り入れ、様々なニーズに対応しています。

### ●水泳

毎週月・木の夜は高松市福岡町プールで、週1〜2回は香川県立総合水泳プールで、幼児から高齢者まであらゆる年齢層を対象に、水慣れから基礎、選手向け、健康増進、機能改善などの様々な定期プログラムや、大会向け、スキルアップ、長期休み中などの期間限定企画、合宿も行っています。

### ●体幹&筋トレ

相当の運動やトレーニングを重ねていないと、体幹・筋トレはできないと思われがちですが、飛び込み香川代表を率いるコーチによるオリジナルプログラムは、年齢・経験問わず誰でも参加可能。毎週1回火曜夜City Studio（今新町）で開催。



### ●ウエルネスファミキックボクシング フィットネスプログラム

レスリングやプロ格闘技修斗で活躍、現在も格闘技の修斗プロモーターであるコーチ発案の、キックボクシングの要素を取り入れた誰でも参加できるフィットネスプログラム。毎月2〜4回、ライオン通商店街の空き店舗を利用したイベント・貸スペース「Smile's」など高松の商店街地域で開催しています。

### ●地域とともに・みんなで活動

祭りや行事など、地元で開催される活動に積極的に参加。  
また昨夏は、筋力や栄養について、コーチと会員がこどもと大人混合チームで勉強・分析し、大塚製薬の方を講師に熱中症対策や栄養について学び、栄養を考えた昼食を購入。その根拠や勉強の成果を「自由研究」として制作・発表する企画を開催。こどもから高齢者が一緒に活動する機会を創出しています。

### ●様々な顔と専門知識を有する コーチの育成

指導者は普段、地域で様々な業種の職業について活躍しています。指導者として活動する時は、自身の知識や経

験を生かすだけでなく、技術のさらなる向上や、確固たるエビデンスに基づく指導が行えるよう、資格の取得、最新の知識や情報を入手することで指導者も常に進化し、より専門的な知識を生かし、皆さまに素晴らしいスポーツや健康増進の機会を提供することに努めています。

### ●fam = family (家族)

ウエルネスファミはこれからも、スポーツクラブや地域活動を通じて年齢・性別の垣根を超えた街づくりを目指していきます。各プログラムは体験もあり、見学も自由です。  
みなさまのご参加、お待ちしております。



**wellness fam**  
fitness / aqua / making

一般社団法人ウエルネスファミ

高松市紺屋町5-5

087-821-1192

info@wellness-fam.com

https://www.wellness-fam.com/



# かがわのスポーツ・インフォメーション

## 第29回県民スポーツ・レクリエーション祭 開催報告!

11月11日(日)サンポート高松において、第29回県民スポーツ・レクリエーション祭(ふれあいスポレク広場、レクリエーション大会)を開催しました。穏やかな気候の中、家族連れから高齢者までたくさんの皆様が参加してスポーツやレクリエーション活動に親しみ交流を深めました。

ウォーキングやサイクリングなどのレクリエーション大会や、キンボールスポーツ、



3B体操、スポーツ吹矢、竹とんぼ教室、ニユースポーツ体験などのふれあいスポレク広場に約4千5百人が集まりました。さらに香川の4つのプロスポーツチームによるブースも多くの人で賑わいました。



ステージイベントとして、ステップ21や3B体操など9団体が、ダンスや演技を発表しました。また、皆さんお楽しみのスタンプリリー抽選会もあり、大いに盛り上がりました。



9月・10月を中心に、各週末に開催されたスポーツ大会には、グラウンド・ゴルフ、実年者バレーボール、キッズサッカーなど21種目の大会に4700名を超える参加者があり、和やかな雰囲気の中、さわやかな汗を流しました。



## 平成30年度青年大会報告

今年度も9月2日(日)に第67回香川県青年大会が香川県青年センター体育館等で行われました。

香川県青年大会は県下各地域で活動している青年が日頃の練習の成果を発表するとともに、参加者自身で創り上げ、また親睦、交流を深める大会です。さまざまな競技が開催されており、軟式野球、バレーボール、バドミントン、卓球、剣道、柔道、フットサルなど多岐にわたります。参加自体は1つの競技だけですが、様々なスポーツを一堂に開催する事で自分の競技だけでなく、スポーツに関わる多くの若者が相集うことも大きな魅力です。

また、香川県大会を経て、全国青年大会にも出場することも選手皆さんの大きな目標です。毎年11月に東京にて行われており、今年も、剣道(男女)、柔道、ボウリング(男・混合)の選手を派遣しました。ボウリングは準優勝と優秀な成績を収めています。

大変歴史のある大会ですので、青年だけでなく、きつと懐かしいと思っただけのお父さんお母さん、おじいさんおばあさん世代もいるのではない

でしょうか?今年度からは学生枠が撤廃され、大学生等が制限なく参加することが可能となりました。時代の変化に伴い、競技の入れ替えや出場枠の緩和など行っており以前に比べても大変参加しやすくなっています。

毎年9月に香川県青年大会、11月には全国青年大会が開催されます。ぜひ、仲間たちと全国大会で自分たちの実力を発揮しましょう!県大会参加申し込みやお問い合わせはメールでお願いします。

活動内容はフェイスブックでもご覧になれます。「香川県連合青年会」で検索してみてください。



連絡先 香川県連合青年会

メール [seinenkagawa@yahoo.co.jp](mailto:seinenkagawa@yahoo.co.jp)



# かがわのスポーツ・インフォメーション

## 生涯スポーツ 指導者養成講座

生涯スポーツの積極的な推進や高度化・多様化するニーズに対応できる指導者の養成を目的に、6日間の講座を開催しました。スポーツに関する理論と実技についての研修を修

6	文化としてのスポーツ 地域におけるスポーツ振興 神戸親和女子大学 田中 聡	5	指導者の役割 香川大学 宮本 賢作	4	総合型地域スポーツクラブについて 県広域スポーツセンター 山家 春香 スポーツ指導者に必要な医学的知識 日本体育大学 成田 和穂	3	救急法 松本接骨院 松本 和子	2	正しいテーピング法 日赤香川県支部	1	平成30年度内容 レクリエーション活動 県レクリエーション協会 高橋 正光 障がいのある方とスポーツ かがわりハビリテーションセンター 藤尾 博子
---	---	---	----------------------	---	---	---	--------------------	---	----------------------	---	---

## 修了おめでとうございます



了した11名の方々に県教育委員会から修了証が授与されました。また、公益財団法人 日本スポーツ協会の「スポーツ指導者資格である、「スポーツリーダー」に16名の方が認定されました。

## 総合型 地域スポーツクラブ マネジャー養成講習会

今年度の総合型地域スポーツクラブマネジャー養成講習会を、12月1・2日に開催しました。

この講習会は、総合型地域スポーツクラブの創設や運営において中心的役割を果たすクラブマネジャーと、それを補佐するアシスタントマネジャーの育成を目的とし、6名が参加し4名が修了されました。

既存のクラブに所属されている方が多く参加していただきました。修了された皆様、修了おめでとうございます。それぞれの地域やクラブにおいてご活躍されることを期待しております。



12/2	12/1	平成30年度講義内容
実践事例 よろずや広島北 ゼネラルマネジャー 関口 昌 クラブのつくり方 特定非営利活動法人 しまもとバンブークラブ 理事 松田 雅彦	実践事例 香川県広域スポーツセンター クラブアドバイザー 山家 春香 龍谷大学経営学部 教授 松永 敬子	地域スポーツクラブとは 地域スポーツクラブの現状 立命館大学スポーツ健康科学部 教授 長積 仁

# かがわのスポーツ・インフォメーション

平成30年度かがわ  
生涯スポーツフォーラム  
盛大に開催！

総合型地域スポーツクラブの育成など生涯スポーツ環境の整備について理解を深めるため、「平成30年度かがわ生涯スポーツフォーラム」が11月24日（土）観音寺市で開催されました。

「災害支援から見るスポーツのチカラ」というテーマで会場の観音寺市民会館（ハイスタツフホール）には県内の総合型地域スポーツクラブ関係者やスポーツ推進委員、スポーツ少年団指導者、防災関係者など約100名が参加し、熱心に講師の話に耳を傾けました。



特別講演

特別講演では、阪神大震災の被災体験と自身のアウトドア知識を活かして、全国で年間100回以上の講演活動をされているあんどう先生か

ら、楽しいアウトドア防災術として、参加者も一緒に体を動かしながら学びました。

また、分科会は「クロスロード体験」「エコノミークラス症候群予防体操」「総合型地域スポーツクラブ実践事例」「親子で参加できる楽しい防災教育」など4つのテーマに分けて行われ、参加者はそれぞれ興味のある分野を実技指導やグループワークなどで、楽しみながら理解を深めました。



分科会

平成30年度かがわ  
ドリームスポーツ教室  
（バレーボール）開催！

将来、オリンピックなどの国際大会に出場し活躍できる本県出身選手を育てることを目的とした「かがわドリームスポーツ教室（バレーボール）」が12月15日（土）普通寺市民体育館で開催されました。

東かがわ市出身で、元全日本男子バレーボール代表監督の植田辰哉さん、元全日本男子代表でともに北京五輪出場の齋藤信治さん、山本隆弘さん、元全日本女子代表でアテネ五輪出場の大山加奈さん、加奈さんの妹の未希さんの5名が講師を務めました。

この教室は平成26年度から始まり、今回で5回目の開催となります。午前は、スーパースリート育成事業の指定選手である208cmの牧選手を含む中学生の県選抜チーム約50名の参加による強化練習会と指導者講習会、午後からは、小学生170名が参加しバレーボール教室が行われました。

参加者たちは、講師の熱心な指導に迎えようと元気よく活動し、スパイクやブロックなどの技術のコツを

学んだり、様々なボール運動を通してバレーボールの楽しさを味わうことができました。





## 「福井しあわせ元気国体2018」 香川県選手団の団体成績

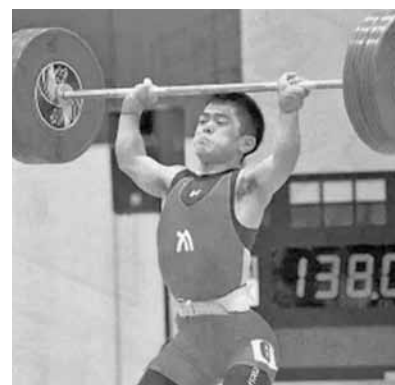
### 福井しあわせ元気国体 2018 入賞者一覧(3位以上)

順位	競技名	種別	種目	氏名	所属名
優勝	レスリング	成年男子	フリースタイル65kg級	鴨居 正和	自衛隊体育学校
	レスリング	少年男子	グレコローマンスタイル71kg級	日下 尚	高松北高等学校
	セーリング	少年女子	420級	茅田 晴香 林 千華	高松商業高等学校 高松商業高等学校
	ウエイトリフティング	成年男子	56kg級クリーン&ジャーク 56kg級 トータル	妹尾 侑哉	東京国際大学
	空手道	成年男子	組手個人重量級	崎山 優成	近畿大学工学部
2位	陸上	成年女子	棒高跳	田中 伶奈	観音寺第一高等学校
	レスリング	少年男子	グレコローマンスタイル60kg級	竹下 航生	高松北高等学校
	ウエイトリフティング	女子	63kg級 スナッチ	造田 愛永	多度津高等学校
			63kg級 トータル		
	ウエイトリフティング	少年男子	56kg級 スナッチ	森田 陸	香川中央高等学校
			56kg級 トータル		
	空手道	—	組手団体	崎山 優成 梶原 龍斗 梶村 侑哉 模利 信乃 梶村 幹人 中川 麻鈴	近畿大学工学部 京都産業大学 近畿大学工学部 天理大学 高松中央高等学校 高松中央高等学校
3位	ボクシング	少年男子	ライトフライ級	桑内 翔樹	鹿島朝日高等学校
	レスリング	少年男子	フリースタイル80kg級	田中 勝大	多度津高等学校
	ウエイトリフティング	成年男子	62kg級 スナッチ	時任 飛鳥	中央大学
	ウエイトリフティング	少年男子	56kg級クリーン&ジャーク	森田 陸	香川中央高等学校
	ウエイトリフティング	少年男子	85kg級 スナッチ	上松 未波	多度津高等学校
	カヌー	少年男子	スプリントカヤックペア	田部 元基	高瀬高等学校
			(200m)	森黒 大	坂出工業高等学校
	空手道	少年男子	形	江原 琉一	高松中央高等学校
	空手道	少年女子	組手個人	中川 麻鈴	高松中央高等学校
	ゴルフ	少年男子	団体	牛塚 海斗 落合 凌 加藤 渉	四国学院大学香川西高等学校 高松北高等学校 藤井学園寒川高等学校

第73回国民体育大会「福井しあわせ元気国体2018」が9月30日(土)から10月10日(火)まで(一部競技を除く)、福井県で開催されました。

本県からは会期前を含め、33競技に500名の選手団が参加し、18競技70種目で入賞を果たしました。その結果、冬季大会・本大会を通して、天皇杯得点859.5点、皇后杯得点526.0点を獲得し、6年ぶりに20位台となる天皇杯順位29位、皇后杯順位28位となりました。

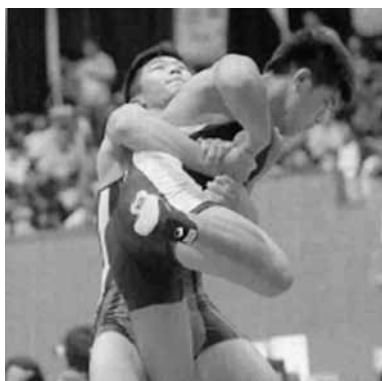
今年の国体は茨城県で開催されますので、皆さん、香川県選手の応援よろしくをお願いします!



妹尾 侑哉(東京国際大学)  
写真 四国新聞2018年10月5日付



林 千華・茅田 晴香(高松商業高等学校)



日下 尚(高松北高等学校)  
写真 四国新聞2018年10月4日付



崎山 優成(近畿大学工学部)  
写真 四国新聞2018年10月7日付



鴨居 正和(自衛隊体育学校)  
写真 四国新聞2018年10月2日付

誰もが世界一になれるわけでもない  
誰もが日本代表になれるわけでもない  
それでも人はスポーツをする  
昨日の自分に追い越されないために  
明日の自分を追い越すために  
スポーツに鍛えられた人生は  
勝っても負けても きっと負けない

スポーツは、自分を超越るためにある。

# スポーツくじ



スポーツくじ (toto・BIG) の収益は、日本のスポーツを  
育てるために使われています。